

令和3年度 横浜市立学校総合文化祭 図画工作・美術・書道作品展

「ゆめがあふれる わたしたちの 図画工作作品展」 「作品展示のためのガイドライン」

開催期間：

令和4年1月26日（水）～1月30日（日）

会場：「横浜市民ギャラリー」

会場案内図



<最寄り駅>

JR・市営地下鉄 桜木町駅（徒歩10分）

京浜急行 日ノ出町駅（徒歩8分）

はじめに

日頃より、図画工作・美術・書道作品展（以下：作品展）開催にあたり、ご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

現在、事業部・児童作品展部（以下：作品展部）では昨年度の反省を生かし、よりよい作品展の開催に向けて計画・準備中です。

教師として、より多くの子どもたちの、多様な作品を出品させたいと願うところですが、展示会場のスペースには限りがあり、また、いくつかの規定があります。

本ガイドラインは、展示会場である「横浜市民ギャラリー」の環境を考慮に入れ、展示のための指針となるよう作成しております。規制するためのものではなく、作品展が公正な選考にもとづいて行われ、子どもたちの多彩な作品が数多く展示されることで、作品展の内容をより一層充実させることを目指しました。

ぜひとも、各区での作品選考の際に、お役立ていただきますようお願い申し上げます。

なお、作品展の実施に関する概要につきましては、9月市研全体会で提案する予定です。

横浜市立小学校図画工作科教育研究会
事業部会・児童作品展部一同

展示作品の内容について

児童作品展部では、作品展に出品する作品を次のように考えています。

*会場のスペースを考慮し「個人制作」の「壁に飾るもの」「置くもの」の2種を展示します。

*吊す作品・共同作品の展示は行いません。

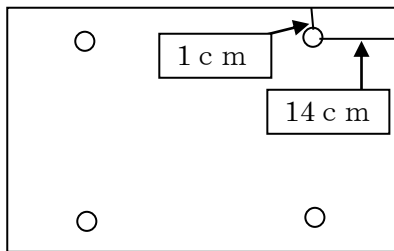
| 内 容 | |
|---------|--|
| 個人による作品 | 壁に飾る 平面作品について ○台紙に貼り付け、連を作って展示します。 一方向から見て鑑賞するような作品です。 *半立体作品を出品することは可能ですが、明らかに吊して鑑賞する方がよい作品や、立体として鑑賞する方がよい作品を出品しないようにご配慮ください。 |
| | 置く 立体的な作品について ○テーブルや台の上に載せて展示します。 全方向から鑑賞する作品です。 *名札の貼り付け方にご配慮ください。 (児童の作品に直接名札を貼り付けないでください。) |

壁に飾るもの

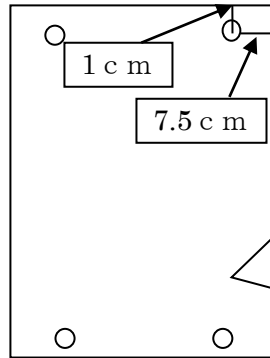
◇台紙の作り方

- ◎下図のようにそれぞれ4か所穴を開け、ハトメを打ってください。
- 作品の向きによって穴の位置が異なるので、横型の作品か、縦型の作品かを必ず確認してから下図のように穴を開けてください。
- 寸法を間違えると、連にすることができなくなりますので正確をお願いします。

《横型の場合》



《縦型の場合》



「壁に飾るもの」の台紙は、10月下旬以降に配布するボール紙です。

枚数が限られているので、作品が縦型か、横型を確かめ、穴をあける位置を確認してから作業してください。

◇台紙への貼り付け方

- 原則として台紙に平面的な作品を1点貼り付けて展示します。
 - 小さな作品は、数点ならば1枚の台紙に一緒に貼っても構いませんが、1枚の台紙に貼る作品は同一学年の作品とします。
- あくまでも数点です。賞状の枚数にも余裕はありませんので良識においてご判断ください。

★★★各區で搬入する前に作品の形状について必ず確認してください★★★

★出品する児童に、作品の天地、正面などを必ず確認しておいてください。★

半立体作品の場合には、次のことに注意してください！

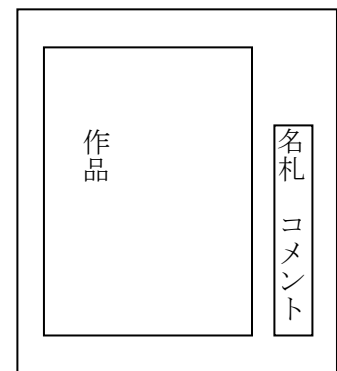
- 化粧紙などの紙類、綿、紐、スパンコールなどの小さな飾りなど、軽い材料で表現されている作品を「壁に飾るもの」として出品することは可能です。
- ベニヤ板など重い素材でつくったものを無理に平面として出品しないでください。
- また、運搬中に破損しないように、確実に接着・接合してあるかを確認し、梱包には十分配慮してください。

◇名札の貼り付け方

- 名札には、児童の表現に込めた思いや工夫などについて、コメントも記載してください。児童自身が書いてもかまいませんが、誤字・脱字や不適切な表現がないかなど、必ず確認をお願いします。

例

作品の天地を確認して、名札を貼ってください。
名札は、作品展部より共通のものを配布します。



置くもの

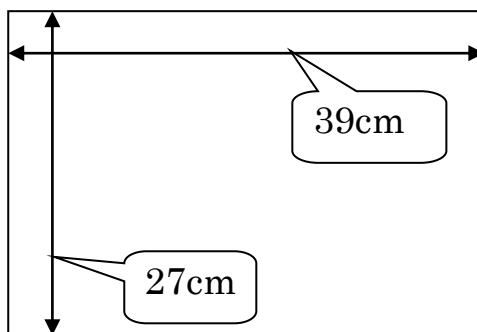
展示スペースが限られているため、八つ切り画用紙に収まる大きさ以内の作品を出品していただくと、ゆとりのある展示ができ、鑑賞しやすくなります。

もちろん、それ以上の作品でも出品できます。展示スペースが狭い場合、該当学年の展示場所以外（展示会場入り口前など）に展示することもありますのでご了承ください。

◇台紙の作り方（必要な場合）

作品用台紙

- 八つ切りサイズ色画用紙（1枚分）
- 画用紙の色は、作品が映えるよう工夫してください。



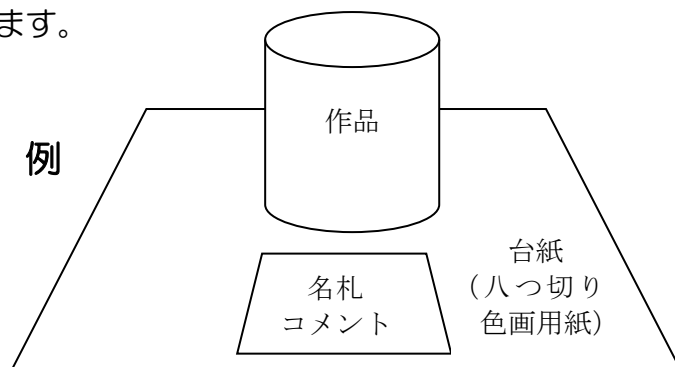
作品の台紙に名札を貼付けると作品がより見やすくなります。

★★★各区で搬入する前に作品の形状について必ず確認してください★★★

- ・「置くもの」の展示は、八つ切り画用紙上に収まる大きさで1点のみでお願いします。
- ・立体パズルのような、崩れやすいもの、未接着で外れやすいものはさけてください。

◇名札の貼り付け方

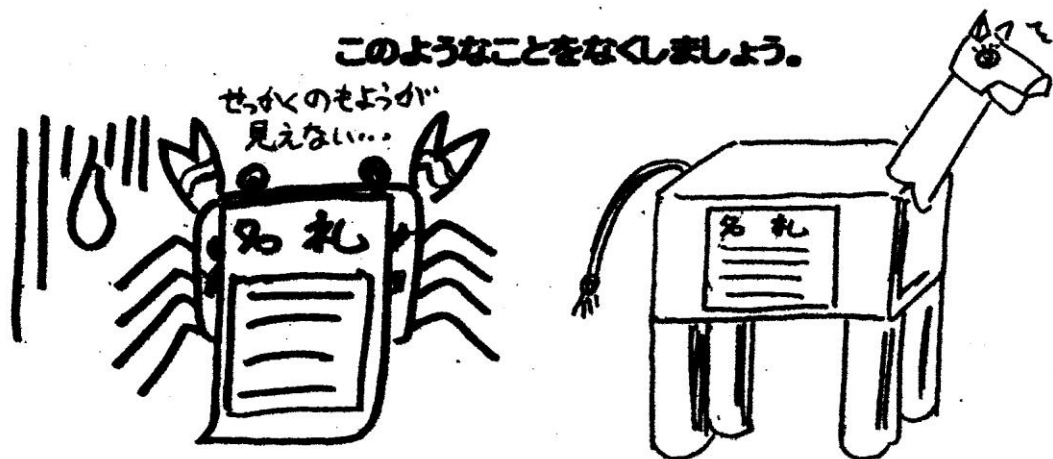
- ・名札には、児童の表現に込めた思いや工夫などについて、コメントも記載してください。児童自身が書いてもかまいませんが、誤字・脱字や不適切な表現がないか等、必ず確認をお願いします。



- ・名札は、児童作品展事業部より配布する共通の形式のもの（壁に飾る用・置くもの用各2タイプあります）を使用してください。
- ・名札は、作品の大きさや形状に合わせて形式を選んで使ってください。

◇梱包の仕方

- ・「置くもの」を出品する作品につきましては、搬入・展示期間中・搬出に耐えられる強度があることを確認してください。
- ・搬入・搬出の際には、個別に梱包したり、緩衝材や新聞紙などを活用したりして作品が破損しないよう細心の注意を払って梱包してください。
- ・搬入作業は、児童作品展部員や各区の担当者が分担して行いますので、展示の際の正面の向きや、パーツが複数ある場合の配置などが分かるよう、作品を梱包する際、作品の完成写真と展示の仕方についての説明文書を添えてください。

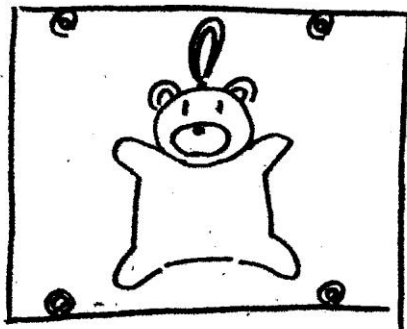


名札が作品の上にべったり貼られている。

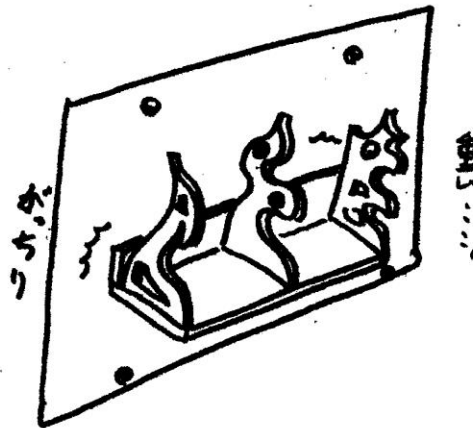
大切な作品です。作品のよさを損なうような名札のはりかたはやめましょう。

壁に飾る「平面作品」として、半立体のものを出品することはかまいませんが、

明らかに吊るして展示したほうが相応しい作品や



置いて展示すべき作品に台紙を貼って、「平面作品」として出品することは、作品のよさを損なうばかりか、運搬や展示中の破損や落下につながります。



このようなことをなくしましょう。

★★注意★★

○光を通すとよりよく見える作品は、照明の具合を調整できないので、あまりおすすめできません。

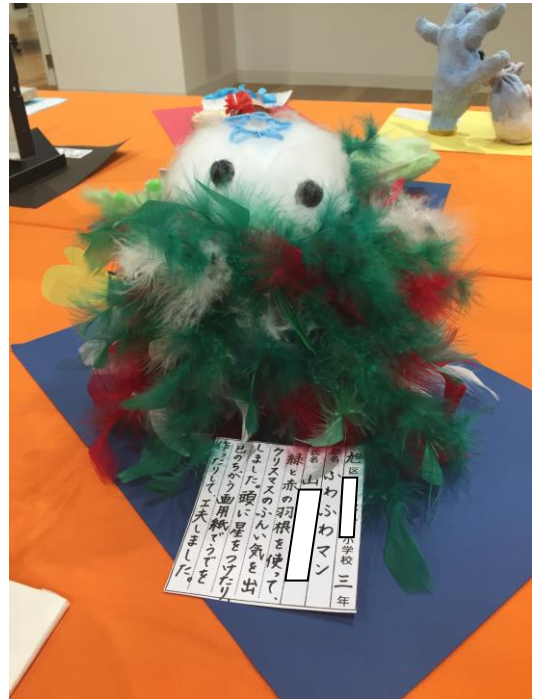
今までの展示の様子

○「壁に飾るもの」(平面作品) 展示例



- 「壁に飾るもの」(平面作品)は、台紙に貼り付けた作品を学年ごとにリングで繋げて連をつくり、展示していきます。原則として、横型の作品と縦型の作品に分けて、連をつくります。

○「置くもの」(立体作品) 展示例



- 「置くもの」(立体作品)は、上の写真のように、台紙に名札を貼ると、見栄えがよく、紛失や置き間違えを防ぐことにもつながります。
- 展示の際は、その場で組み立てなくてもよい状態で梱包していただくと助かります。
- 展示の際の正面の向き、台紙上の配置の仕方、組み立て方等が分かるよう、写真と展示の際の説明文書を添えてください。

ご協力よろしくお願いします。

